

(医責244号)
令和3年2月17日

都道府県医師会
担当理事 殿

日本医師会
常任理事 松本 吉郎
常任理事 城守 国斗
(公印省略)

日医医賠償保険付帯医療通訳サービス：対象言語追加のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、掲記医療通訳サービスが令和2年4月よりスタートし、まもなく一年を迎えます。本サービスの会員への周知につきましては各都道府県医師会の皆様に多大なるご支援を頂き、改めて感謝申し上げます。

この度、医療通訳サービスの対象言語を追加し18言語とすることとしましたので、ご連絡いたします。

本サービスは訪日・在日外国人の増加による外国人患者の増大に備えるため用意したのですが、新型コロナによる東京オリンピック・パラリンピック延期他国内外の情勢により、訪日外国人は当初の予測を大きく下回る水準となっております。しかしながら在日外国人においては国内における新型コロナ感染リスクにさらされており、医療機関での診療並びに相談、また新型コロナ関連の説明機会が以前より増加していることが推察されます。

希少言語を母国語とする外国人患者への対応において本サービスは有用であり、言葉の壁による情報不足に悩む外国人患者にとって本サービスを活用できる日医会員医療機関は大変心強い存在と考えます。

日本医師会としましては引き続き本サービスへのエントリーを推進したいと考えておりますので、都道府県医師会の皆様におかれましては今回の対象言語追加を機会として、改めて所属会員への周知と推奨のご支援を頂きたいと存じます。

新型コロナ対策で大変ご多忙の事とは存じますが、ご支援の程何卒宜しくお願い申し上げます。

敬具

1. 追加言語 **アラビア語**

使用地域：アラブ首長国連邦、イエメン、オマーン、カタール、クウェート、サウジアラビア、シリア、バーレーン、パレスチナ、ヨルダン、レバノン、エジプト、リビア、チュニジアなどの公用語

※メディフォン社利用実績：全通訳中、1.45%（全言語中、11 番目に利用されている言語）

(1) 対象医療通訳

電話医療通訳と機械翻訳両方

(2) 開始時期 令和3年2月19日

※日医ニュース令和3年3月5日号に告知も行う予定です。

2. ご参考(日医医療通訳サービスについて)

(1) 医療通訳サービスの対応言語 18言語

(英語、中国語、韓国語、ベトナム語、タイ語、スペイン語、ポルトガル語、ロシア語、フランス語、ヒンディー語、モンゴル語、インドネシア語、ネパール語、ペルシア語、ミャンマー語、タガログ語、広東語、アラビア語)

(2) 登録方法・利用方法・その他

「日本医師会ホームページメンバーズルーム」内の「医師会活動について」－「会員の皆様へ(会員限定サービス)」－「医療通訳サービス(日医医賠責保険付帯)」－「令和2年4月1日より医療通訳サービスが付帯されます」に収納されたQRコード又はURLからエントリー頂き、その後サービス提供会社より送付されるマニュアルに沿ってご利用頂きます。その他詳細についても記載しておりますのでご確認ください。